

(今月の行事予定)

日	曜	法 座 行 事	各 地 方 行 事	時 刻	場 所
8	日	伊 勢 参 拝		午前 6 時出発～	本部講堂
11	水	恩師月御命日経巻供養 (11 番)		午後 8 時～	本部講堂
13	金	富井支部長経巻供養 (13 番)		午後 8 時～	本部講堂
22	日	恩師奥様祥月御命日 御本部法座日/天命日祭	打ち合わせ会	午前 9 時～	本部講堂

●恩師御法話 S47.02 守口講堂にて

長年行じて、ちっとも仏智を戴けない。経巻をあげる心掛けが間違っている。
解脱(身を促めて小ならしめ)できないと、物事がうまくいかない。
自分が解脱した心で相手に対応すると、相手の到らなさがよく解かる。仏智見が戴ける。
何をするにも、己が懺悔する心持ちで臨めば、何をしても失敗せずにできる。
経文も先祖に届く。知らず知らずのうちに仏智見が戴ける。
人間は死ぬ間際まで欲が離れない。仏の知恵を磨きながら、
増上慢になるのではなく、解脱を忘れず、懺悔を忘れずに。
これもひとつの懺悔だと思いながら、日々を送るようお願いします。

●お知らせ

- ① 伊勢神宮参拝 3月8日(日)、午前6時本部出発 参拝費用 1人6,000円。
- ② 22日(日)の法座日並びに天命日祭の服装につきましては平常通りでお願い致します。
※天命日祭の菩提心を22日(日)当日に受け付けます。心ある方は宜しくお願いします。
- ③ 御奉仕はその都度、確認お願いします。また、格別のご配慮をお願い申し上げます。
個々におきましては、無理のない対応にてお願いします。



編集後記

3月5日に啓蟄を迎え、いよいよ季節は春らしくなってきます。七十二候では蟄虫啓戸(すごもりのむしとをひらく)と言い、冬ごもりをしていた生きものたちが戸を啓いて顔を出す頃です。気温の上昇とともに冬の間、閉蔵していた動植物も人間も外に向かって動きを始める時です。
3月20日は春分を迎え、七十二候では3月25日頃を桜始開(さくらはじめてひらく)とし、いよいよ春本番となります。肝の気もいよいよ活発になり、逆にイライラしてしまうことも。黄帝内経では春の養生として、早起きをして、ゆったりと散歩すると良いと書かれています。ストレスを溜めない様に、春の暖かな陽を浴びながら適度な運動を心がけるようにしましょう。

また我々信者一同は、このひと月、しっかりと神仏と題目にすがりながら、本年の春と共に新たなスタートをきれるよう精進と変え行きましょう。

今後も様々な情報を発信していきます。次号は4月1日発行予定です。